



学校だより

みなみすな

令和8年度 7月号
令和8年7月1日
江東区立南砂小学校
校長 石川 千影

「人と違うってどういうこと？」

校長 石川 千影

6月の学校公開には、たくさんの保護者の方に参加いただき、誠にありがとうございました。公開中の6月22日(月)には道徳授業地区公開講座を行いました。今年度は、人権問題体験学習会を行いました。「人と違うってどういうこと？」という題で、NPO 法人マイフェイス・マイスタイル代表の外川浩子さんを講師としてお迎えして、児童向けの講演会を低学年と高学年に分けて実施しました。講演会後には、講師を囲んで保護者意見交換会を行いました。こどもが気になる言葉を言ったときにどう対応すれば良いかなど、具体的で参考になるお話を伺うことができました。ご参加いただきました皆様、お時間を取っていただき、ありがとうございました。今回の学習会が「見た目問題」を知り、自分がどんな大人になりたいのか考えるきっかけになっていたらうれしいです。南砂のこどもたちには、見た目だけであれこれと判断するのではなく、本質を見つめられる大人になってほしいと願っています。

「開校記念日 誕生秘話」

6月中旬の全校朝会で、本校の開校記念日についてお話ししました。お話をした後ですが、校長室の棚の保管されている開校5周年の記念誌が、ふと目に留まりました。保護者の方や地域にお住まいの方の中には、卒業生として、この記念誌をお手元にお持ちの方もいらっしゃると思います。以前開校記念日について調べた際、この記念誌はさっと開けて見ただけでした。しっかり読んだのは今回が初めてでした。遅ればせながら、開校5周年記念誌を開けて読んでみると、当時の第二代藤原壯夫校長先生のあいさつに、南砂西小と南砂東小が統合し、新校として南砂小が生まれ、開校記念日は、南砂西小が6月9日、南砂東小が6月11日なので、9と11を足して20として6月20日を南砂小学校の開校記念日とした、という内容が記載されていました。たくさんの方々の思いが込められて決められたことでしょう。ふとしたきっかけから、改めて知る貴重な歴史でした。

小学校は東京都住宅供給公社南砂二丁目住宅団地の造成に伴って建設され、昭和50年に南砂西小が開校、続いて昭和55年に南砂東小が開校しました。二校が統合する際、南砂東小の校舎を利用し「南砂小学校」が誕生したそうです。「仲よし班」や「ビオトープ」は、開校当時から続いている教育活動であることも分かりました。平成14年1月21日には、第2回全国学校ビオトープコンクールで優秀賞を受賞しています。地域の方のご協力により、身近な環境として学んできているのです。自慢できる南砂小学校の歴史の一つです。

また、統合後の校名として「第八砂町小学校」が候補となっていたが、地域の方々の思いから、「南砂小学校」となったと聞いたことがあります。まぼろしとなった八砂小の校名プレートは、2-5玄関にあるガラスケース内に保管されています。ご来校の際、ぜひご覧ください。これからも、こどもたちの笑顔があふれる学校として、南砂小学校の歴史と伝統を受け継ぎ、地域とともにあゆみ、次世代に引き継いでいきたいと思っています。今後とも、ご理解ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

<南砂小学校 校内研究について>

研究主任

昨年度は、東京都教育委員会による人権尊重教育推進校の指定を受け、「自分もみんなも大切にできる南砂の子」～児童による主体的な活動を通して～というテーマで研究を進めてきました。本年度は、児童の円滑なコミュニケーション能力の育成を目指して、研究主題は「自分もみんなも大切にできる南砂の子」を引き継ぎ、研究副主題を～安心できるコミュニケーションを目指して～と設定しました。南砂小学校の教職員が一丸となって、研究を進めていきます。